

(四)

讀者記者

●娘一コント 葉子

近來頻々として在伯同胞間に結婚の趣事があります、發展勃興の兆大賀至極に存せられます、會々田舎旅の一節に娘一コントと云ふ記事を拜見致しましたが實際であります。故國では嫁入衣裝孫こしらひにコストは愚か三コントスは里方持てあります、が、伯國の嫁貰らひは反對で貴ふ方からであります。然も尙ほ適意の婦人を見出しこうが出来ぬと云ふ有様、之れ畢竟婦人の不足からでもあります、が、如何に内助の勤をなす婦人の必要にして働く大なるかを證するに足るものであります。

決然志を立てゝ風波數千里外の伯國に渡航せる人々は、云ふ迄も無く金儲けに來て居らるゝので、兩親の爲めに家の爲めに兄弟姉妹の爲めに或は社會の義理の爲めに!、其上渡航費等種々費用も掛かつて居るからには、結婚するにして最多の金を送付しました其上で顏紅めながら言斷る其心中我を捨てゝ兩親の爲め、家の爲め、兄弟姉妹の爲め又は社會の爲めに犠牲にならうと覺悟定めて居る健氣な美しい精神を汲む時は、女神の如く尊く仰がるゝ共に同情の涙を禁ずる事が出来ません、斯る美しい情愛の婦人と一生の苦樂と共にし麗はしき家庭を作らんと希望する男子が、誠から出せし一コントの金は女の働きとして故郷に送らるゝであります。

此金が兩親の膝の上にて開かれた時、家族の眼前にて並べられた時、如何に美しく輝くでせう、朋輩の間に聞せられた時、彼女の面目は如何で此共、此一コントの金は遠く故郷の空に赫々として輝き豆のあります、最愛の妻たる可き婦人への贈物としてその一コントの金は特別の輝があります、喜んで送金し、四海波静かに故國の空に喜んで納まる此様な芽出度い金

近來頻々として在伯同胞間に結婚の趣事があります、發展勃興の兆大賀至極に存せられます、會々田舎旅の一節に娘一コントと云ふ記事を拜見致しましたが實際であります。故國では嫁入衣裝孫こしらひにコストは愚か三コントスは里方持てあります、が、伯國の嫁貰らひは反對で貴ふ方からであります。然も尙ほ適意の婦人を見出しこうが出来ぬと云ふ有様、之れ畢竟婦人の不足からでもあります、が、如何に内助の勤をなす婦人の必要にして働く大なるかを證するに足るものであります。

決然志を立てゝ風波數千里外の伯國に渡航せる人々は、云ふ迄も無く金儲けに來て居らるゝので、兩親の爲めに家の爲めに兄弟姉妹の爲めに或は社會の義理の爲めに!、其上渡航費等種々費用も掛かつて居るからには、結婚するにして最多の金を送付しました其上で顏紅めながら言断る其心中我を捨てゝ兩親の爲め、家の爲め、兄弟姉妹の爲め又は社會の爲めに犠牲にならうと覺悟定めて居る健氣な美しい精神を汲む時は、女神の如く尊く仰がるゝ共に同情の涙を禁ずる事が出来ません、斯る美しい情愛の婦人と一生の苦樂と共にし麗はしき家庭を作らんと希望する男子が、誠から出せし一コントの金は女の働きとして故郷に送らるゝであります。

此金が兩親の膝の上にて開かれた時、家族の眼前にて並べられた時、如何に美しく輝くでせう、朋輩の間に聞せられた時、彼女の面目は如何で此共、此一コントの金は遠く故郷の空に赫々として輝き豆のあります、最愛の妻たる可き婦人への贈物としてその一コントの金は特別の輝があります、喜んで送金し、四海波静かに故國の空に喜んで納まる此様な芽出度い金

近來頻々として在伯同胞間に結婚の趣事があります、發展勃興の兆大賀至極に存せられます、會々田舎旅の一節に娘一コントと云ふ記事を拜見致しましたが實際であります。故國では嫁入衣裝孫こしらひにコストは愚か三コントスは里方持てあります、が、伯國の嫁貰らひは反對で貴ふ方からであります。然も尙ほ適意の婦人を見出しこうが出来ぬと云ふ有様、之れ畢竟婦人の不足からでもあります、が、如何に内助の勤をなす婦人の必要にして働く大なるかを證するに足るものであります。

決然志を立てゝ風波數千里外の伯國に渡航せる人々は、云ふ迄も無く金儲けに來て居らるゝので、兩親の爲めに家の爲めに兄弟姉妹の爲めに或は社會の義理の爲めに!、其上渡航費等種々費用も掛かつて居るからには、結婚するにして最多の金を送付しました其上で顏紅めながら言断る其心中我を捨てゝ兩親の爲め、家の爲め、兄弟姉妹の爲め又は社會の爲めに犠牲にならうと覺悟定めて居る健氣な美しい精神を汲む時は、女神の如く尊く仰がるゝ共に同情の涙を禁ずる事が出来ません、斯る美しい情愛の婦人と一生の苦樂と共にし麗はしき家庭を作らんと希望する男子が、誠から出せし一コントの金は女の働きとして故郷に送らるゝであります。

此金が兩親の膝の上にて開かれた時、家族の眼前にて並べられた時、如何に美しく輝くでせう、朋輩の間に聞せられた時、彼女の面目は如何で此共、此一コントの金は遠く故郷の空に赫々として輝き豆のあります、最愛の妻たる可き婦人への贈物としてその一コントの金は特別の輝があります、喜んで送金し、四海波静かに故國の空に喜んで納まる此様な芽出度い金

近來頻々として在伯同胞間に結婚の趣事があります、發展勃興の兆大賀至極に存せられます、會々田舎旅の一節に娘一コントと云ふ記事を拜見致しましたが實際であります。故國では嫁入衣裝孫こしらひにコストは愚か三コントスは里方持てあります、が、伯國の嫁貰らひは反對で貴ふ方からであります。然も尙ほ適意の婦人を見出しこうが出来ぬと云ふ有様、之れ畢竟婦人の不足からでもあります、が、如何に内助の勤をなす婦人の必要にして働く大なるかを證するに足るものであります。

決然志を立てゝ風波數千里外の伯國に渡航せる人々は、云ふ迄も無く金儲けに來て居らるゝので、兩親の爲めに家の爲めに兄弟姉妹の爲めに或は社會の義理の爲めに!、其上渡航費等種々費用も掛け居るからには、結婚するにして最多の金を送付しました其上で顏紅めながら言断る其心中我を捨てゝ兩親の爲め、家の爲め、兄弟姉妹の爲め又は社會の爲めに犠牲にならうと覺悟定めて居る健氣な美しい精神を汲む時は、女神の如く尊く仰がるゝ共に同情の涙を禁ずる事が出来ません、斯る美しい情愛の婦人と一生の苦樂と共にし麗はしき家庭を作らんと希望する男子が、誠から出せし一コントの金は女の働きとして故郷に送らるゝであります。

此金が兩親の膝の上にて開かれた時、家族の眼前にて並べられた時、如何に美しく輝くでせう、朋輩の間に聞せられた時、彼女の面目は如何で此共、此一コントの金は遠く故郷の空に赫々として輝き豆のあります、最愛の妻たる可き婦人への贈物としてその一コントの金は特別の輝があります、喜んで送金し、四海波静かに故國の空に喜んで納まる此様な芽出度い金

近來頻々として在伯同胞間に結婚の趣事があります、發展勃興の兆大賀至極に存せられます、會々田舎旅の一節に娘一コントと云ふ記事を拜見致しましたが實際であります。故國では嫁入衣裝孫こしらひにコストは愚か三コントスは里方持てあります、が、伯國の嫁貰らひは反對で貴ふ方からであります。然も尙ほ適意の婦人を見出しこうが出来ぬと云ふ有様、之れ畢竟婦人の不足からでもあります、が、如何に内助の勤をなす婦人の必要にして働く大なるかを證するに足るものであります。

決然志を立てゝ風波數千里外の伯國に渡航せる人々は、云ふ迄も無く金儲けに來て居らるゝので、兩親の爲めに家の爲めに兄弟姉妹の爲めに或は社會の義理の爲めに!、其上渡航費等種々費用も掛け居るからには、結婚するにして最多の金を送付しました其上で顏紅めながら言断る其心中我を捨てゝ兩親の爲め、家の爲め、兄弟姉妹の爲め又は社會の爲めに犠牲にならうと覺悟定めて居る健氣な美しい精神を汲む時は、女神の如く尊く仰がるゝ共に同情の涙を禁ずる事が出来ません、斯る美しい情愛の婦人と一生の苦樂と共にし麗はしき家庭を作らんと希望する男子が、誠から出せし一コントの金は女の働きとして故郷に送らるゝであります。

此金が兩親の膝の上にて開かれた時、家族の眼前にて並べられた時、如何に美しく輝くでせう、朋輩の間に聞せられた時、彼女の面目は如何で此共、此一コントの金は遠く故郷の空に赫々として輝き豆のあります、最愛の妻たる可き婦人への贈物としてその一コントの金は特別の輝があります、喜んで送金し、四海波静かに故國の空に喜んで納まる此様な芽出度い金

額に非ずして贈受者双方の意思であります、マア平たく申せば互に愛し合つてゐる仲で、双方合意の上男が金を出して女の親兄弟を喜ばせる云ふことは何人も異議はないと思ひます、又女金がいるならば男に貢いで男の出世を助けるも可し、金で男の係累が絶るなら其の係累を絶つて、夫婦入らずの家庭を作るのも可いと思ひます、西洋にも男は女、女は男を金で助けて芽出度結婚した例は澤山ありますから、何も遠慮してはいけません、内密に、結婚と云ふ天下時されての慶事を「閨房秘すべし」と云ふは根本に於て間違った思想だと思います。

麵麩の製造

生命のある限りここでかうして見張りをしてゐませう』と申しました、
宮さまは、そこで『一流の方はどうだ
らう』と仰しやいます、唐獅子が
大きな聲をだして『上手の入口に私
がお受あひいたします』と申しました、
宮さまは、この美しい谷間で神
さまと虎と唐獅子と鷹とのお蔭で、ち
つとも心配なしに、一日をお過しに
なつて、無事津川へお逃げになつ
ました。

其の後宮さまは賊の爲にさうこう
殺されれておしまひ、さいましたので
この谷中は大きう悲しみました、そ
して虎も唐獅子も、見えみな石にな
つてしまひました、美しい岩の中で
美しい谷といふのは、紀州熊野川の
上流北山川にある名高い一泥人丁の
のことです、嘘と思ふなら行つて御
らんないさい、虎石、鷹石、唐獅子岩
、伯石など皆皆つてゐます。

其の後宮さまは賊の爲にさうこう
殺されられておしまひ、さいましたので
この谷中は大きう悲しみました、そ
して虎も唐獅子も、見えみな石にな
つてしまひました、美しい岩の中で
美しい谷といふのは、紀州熊野川の
上流北山川にある名高い一泥人丁の
のことです、嘘と思ふなら行つて御
らんないさい、虎石、鷹石、唐獅子岩
、伯石など皆皆つてゐます。

生命のある限りここでかうして見張りをしてゐませう』と申しました、
宮さまは、そこで『一流の方はどうだ
らう』と仰しやいます、唐獅子が
大きな聲をだして『上手の入口に私
がお受あひいたします』と申しました、
宮さまは、この美しい谷間で神
さまと虎と唐獅子と鷹とのお蔭で、ち
つとも心配なしに、一日をお過しに
なつて、無事津川へお逃げになつ
ました。

其の後宮さまは賊の爲にさうこう
殺されれておしまひ、さいましたので
この谷中は大きう悲しみました、そ
して虎も唐獅子も、見えみな石にな
つてしまひました、美しい岩の中で
美しい谷といふのは、紀州熊野川の
上流北山川にある名高い一泥人丁の
ことです、嘘と思ふなら行つて御
らんないさい、虎石、鷹石、唐獅子岩
、伯石など皆皆つてゐます。

其の後宮さまは賊の爲にさうこう
殺されれておしまひ、さいましたので
この谷中は大きう悲しみました、そ
して虎も唐獅子も、見えみな石にな
つてしまひました、美しい岩の中で
美しい谷といふのは、紀州熊野川の
上流北山川にある名高い一泥人丁の
ことです、嘘と思ふなら行つて御
らんないさい、虎石、鷹石、唐獅子岩
、伯石など皆皆つてゐます。

